

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 IV・V 】
2 実施対象者	古河市立三和北中学校 全学年 14クラス（特別支援学級3クラス含む）348名 教職員 39名 保護者・地域の方 48名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育・音楽 ） ② 行事名（ 講演会・音楽鑑賞会 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	本物に触れる（元オリンピックの講演・実技指導、プロの声楽による音楽鑑賞）活動を通して、下記の二点に迫る。 ・オリンピック・パラリンピックムーブメントの普及・推進、スポーツ機運の醸成。 ・日本の伝統・郷土の文化や世界の理解、多様性を尊重する態度の育成。
5 取組内容	1 元オリンピックによる講演・実技 ○講師：平岡拓晃 氏 （ロンドンオリンピック 柔道男子60kg級 銀メダリスト） ○内容：第一部 講演『失敗＝ダメじゃない』 第二部 実技『平岡先生と柔道！』



2 プロの音楽家による演奏

～音楽を通して国際理解～

- 講師：鎌田亮子 氏 (ソプラノ)
- 稲垣成人 氏 (テノール)
- 藤堂公揮 氏  
(テノール・音響)
- 前田明子 氏 (ピアノ)



- 内容：日本語訳付きによる歌・ピアノ演奏

3 オリンピック・パラリンピック関連図書の購入・環境整備

- 『オリンピック書籍のコーナー』の設置  
「オリンピック・パラリンピック大百科」「オリンピック丸分かり辞典」等の書籍を購入し、図書室に『書籍のコーナー』を設けた。
- 環境整備  
職員室前フロアに、オリンピック・パラリンピックのコーナーを設置して、情報発信した。



6 主な成果

1 元オリンピック選手による講演・実技

- ・講演では、先生の体験からけがをどのようにして克服し今の自分があるのか、お世話になっている方々に感謝の気持ちを忘れないこと、目標をもつこと、失敗を恐れないこと等お話しいただき、生徒達は『スポーツの素晴らしさ』を知るとともに『勇気』を与えていただけた。
- ・実技では、本校柔道部の生徒とともに様々な技を披露していただき、迫力のある技を目の当たりにした。技のポイントの説明が分かりやすく、部活動はもちろんのこと、その後実施した1年生の授業(柔道)にも大変役立った。柔道について学ぶとともに、オリンピック・パラリンピックや茨城ゆめ国体にも関心が高まった。

2 プロの音楽家による演奏 ～音楽を通して国際理解～

- ・オリンピックにゆかりのある国々の歌を解説・日本語訳付きでその国の言語で歌っていただいたので、演奏の迫力を肌で感じられた。また、歌の合間の話の中でその国のオリンピック等についても触れられたため、その国々やオリンピックを身近に感じる事ができた。

3 オリンピック・パラリンピック関連図書の購入・コーナー設置

- ・生徒が興味をもてそうな書籍を厳選して9冊購入した。図書館支援員の協力を得て、コーナーを設置し生徒へのPRを積極的に行った。結果、生徒達は興味をもって積極的に読書に励み、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まり、理解を深めることができた。また、環境整備において、常に最新情報を発信することで、生徒はもちろん教職員の興味関心が高まった。さらには、来校者の方々へのPRにもなった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遠い存在であるオリンピックなどを招くことは地理的にも金銭面でも難しいところだったが、「オリンピック・パラリンピック派遣プロジェクト」に積極的に応募し、チャンスを得た。</li> <li>• プロの音楽家の演奏を聴いたことがある生徒はほとんどいない。世界理解をぜひ生の演奏を通して深めたい、と考え本校職員のネットワークで演奏家を招いた。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業費の執行について、事前に十分な理解をして適切にかつ有効的に活用すること。</li> <li>• ねらいに迫るための最適な講師依頼、体験的活動の計画・実践を慎重かつ適切に行う。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年度限りで取組を終わりにすることなく、生徒の興味関心や意欲が継続できるよう、環境面でのさらなる充実を図る。また、可能な限り体験的な学習等を設定していく。</li> </ul>